



2009年度 第1四半期決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

<http://www.hodogaya.co.jp/>

2009年度第1四半期の決算概要

- 世界的な需要後退の影響を受け、販売数量が減少。
営業利益で赤字を計上。
- 受取配当金(営業外収益)の減少、
一時帰休損・株式評価損(特別損失)の発生により、
経常利益・純利益ともに赤字を計上。

業績概要(連結)

単位:百万円

科 目	2008年度 1Q		2009年度 1Q		増 減 (率)	
売 上 高	8,069		7,173		▲896	▲11.1%
営 業 利 益	222	2.8%	▲170	▲ 2.3%	▲392	—
経 常 利 益	352	4.4%	▲325	▲4.5%	▲678	—
当 期 純 利 益	▲446	▲ 5.5%	▲568	▲7.9%	▲122	—

セグメント別売上高(連結)(前年同期比)

- 事業買収効果 (保土谷UPL(株)、保土谷バンデックス建材(株))および殺虫剤事業買収の効果があったものの、世界的な需要後退の影響に伴う、電子材料・樹脂材料等の販売不振により、**大幅な減収**
- 減収の主要因は、**数量差(販売数量減少)**

単位:百万円

セグメント	2008年度 1Q	2009年度 1Q	増減	増減要因	
				数量差	売価差
精密化学品	3,216	2,877	▲339	▲312	▲27
機能性樹脂	2,186	1,912	▲273	▲335	62
基礎化学品	2,222	1,877	▲345	▲483	138
その他	444	506	62	62	—
合計	8,069	7,173	▲896	▲1,068	172

(内、為替差 ▲63)

セグメント別営業利益(連結)(前年同期比)

- 営業利益は、その他セグメントを除き、**減益**
- 減益の主要因は、**数量差と原価差**

単位:百万円

セグメント	2008年度 1Q	2009年度 1Q	増減	増減要因			
				数量差	売価差	原価差	販管費差
精密化学品	157	▲189	▲346	▲86	▲27	▲174	▲57
機能性樹脂	▲8	▲53	▲45	▲201	62	76	17
基礎化学品	65	55	▲10	▲171	138	▲2	26
その他	8	16	7	27	—	0	▲19
合計	222	▲170	▲392	▲432	172	▲100	▲33

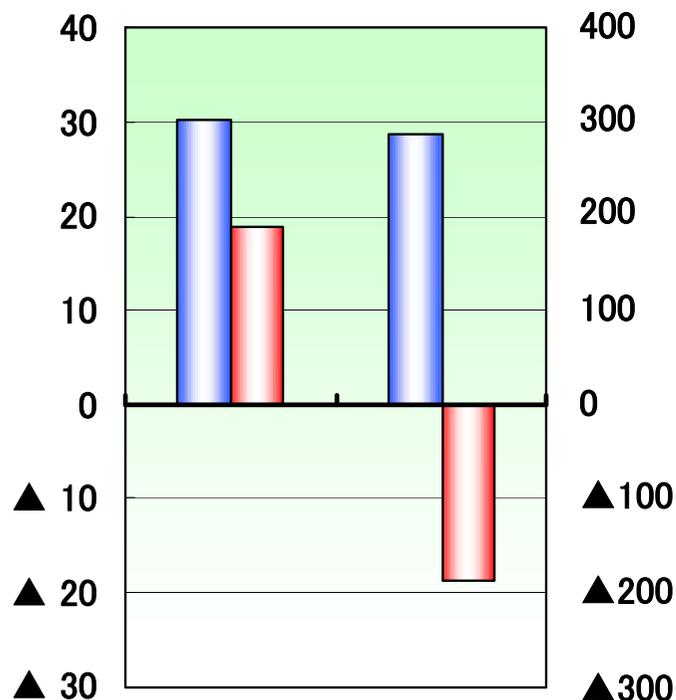
(内、為替差▲63)

精密化学品セグメント

単位:億円

単位:百万円

売上高



2008年度
第4四半期

2009年度
第1四半期

■ 売上高 : 左目盛
■ 営業利益 : 右目盛

色素
材料

・在庫調整が一巡し、一部で回復
・需要全体は、低迷継続



電子
材料

・在庫調整が一巡し、一部で回復
・需要全体は、低迷継続



有機EL

・依然厳しい状況が継続



特殊
化学品

・前4Qは特需による特殊要因あり
・今後も厳しい状況が続く



アグロ

・下期と比べ、上期は閑散期である
・年間では、前年比増加見込み

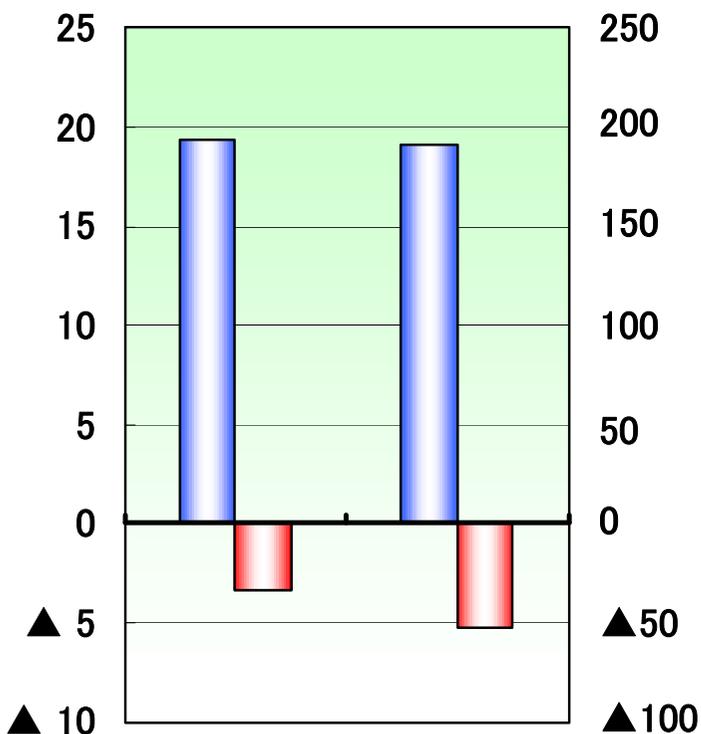


化学で夢のお手伝い

機能性樹脂セグメント

単位:億円

単位:百万円



2008年度 第4四半期 2009年度 第1四半期

■ 売上高 : 左目盛
■ 営業利益 : 右目盛

樹脂材料

- ・需要時期のズレと在庫調整が一巡し、一部で回復
- ・依然厳しい状況が継続

売上高



建材 (材料販売)

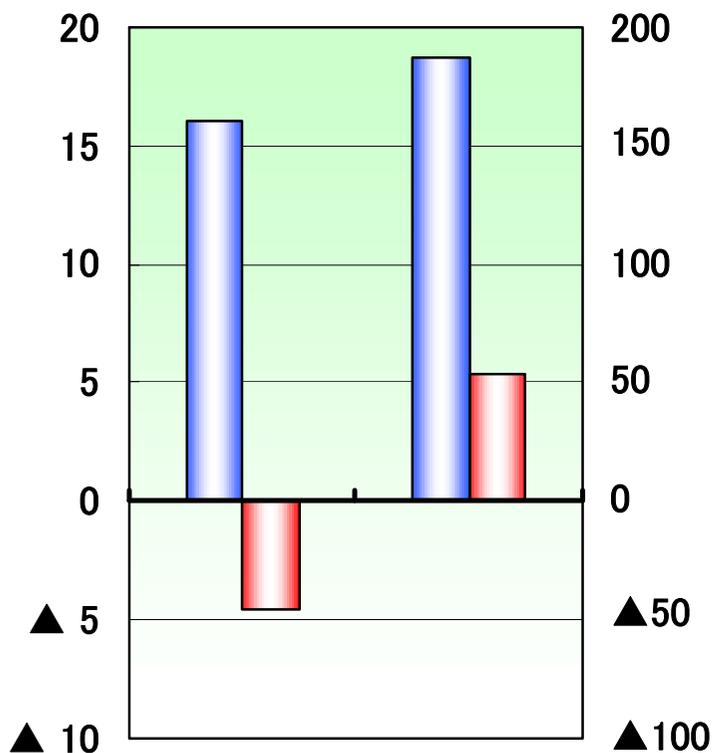
- ・下期と比べ、上期は閑散期である
- ・競争激化



基礎化学品セグメント

単位:億円

単位:百万円



過酸化水素

- 一部顧客の需要回復
- 紙パは顧客の減産継続

売上高



2008年度
第4四半期

2009年度
第1四半期

■ 売上高 : 左目盛

■ 営業利益 : 右目盛

化学で夢のお手伝い